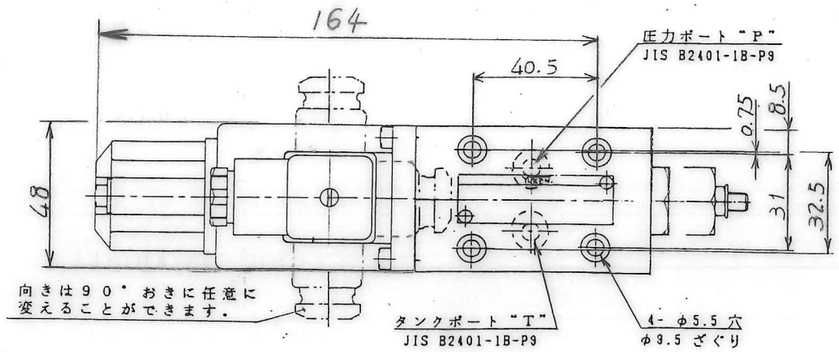
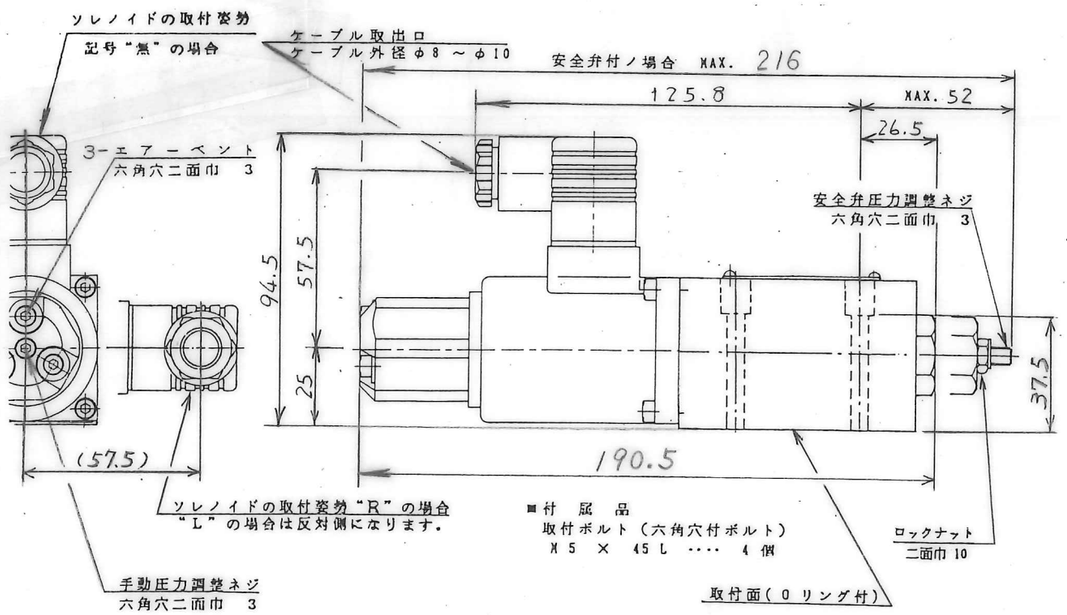


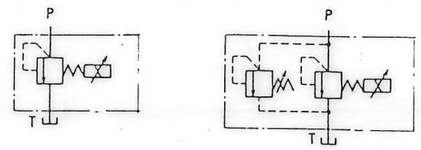


■仕様

最高使用圧力	24.5 MPa
定格流量	2 ℓ/min
最小制御流量	0.3 ℓ/min
圧力調整範囲 注)	定格電流
EDG-01-B- 0.5～6.9 MPa	800 mA
EDG-01-C- 1.0～15.7 MPa	900 mA
EDG-01-H- 1.2～24.5 MPa	950 mA
繰返し性 （専用アンプ使用時）	1％以下
ヒステリシス （専用アンプ使用時）	3％以下
コイル抵抗	10 Ω
質量	約 2Kg

注). 本値は，弁を水平に取付けた時の値です。
垂直に取付けた場合は，最低調整圧力が約0.2MPa
高くなります。

■油圧図記号



安全弁付

■モデル番号の構成

EDG－01V－C－1－P※※T※※－51－L

- L：注2）
- 51：デザイン番号
- T※※：Tラインオリフィス 注1）
- P※※：Pラインオリフィス
  PN；オリフィスなし（標準）
- 1：安全弁の有無
  無；安全弁なし
  1；〃 付
- C：圧力調整範囲
  B；0.5～6.9 MPa
  C；1.0～15.7 MPa
  H；1.2～24.5 MPa
- V：用途記号
  無；一般用途用
  V；リリーフ弁のベントコントロール用
- 01：大きさの呼び
- EDG：比例電磁式パイロットリリーフ弁（サブプレート取付形）

注）1 Tラインオリフィスの標準オリフィスは次の通りです。
圧力調整範囲 B；T15，C；T13，H；T11

2．ソレノイドの取付姿勢を示します。外観の側面図を参照願います。
記入記号は"無"，"R"，"L"より選択して下さい。

■使用上の注意

・空気抜き
安定した圧力制御を行うために、エアーベントを緩めて空気抜きを行いソレノイドケース内に油を充満させて下さい。
なお、エアベントは、3カ所ありますので、最も空気が抜ける位置から操作してください。

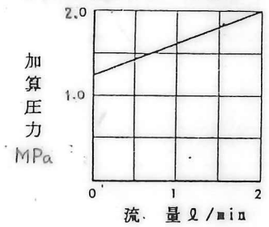
・手動調整ねじ
初期調整または電気的な故障などで、ソレノイドに入力電流がない場合に、手動調整ねじを回すことにより弁の圧力を設定することができます。通常の場合は、必ず手動調整ねじを完全に戻しておいてください。

・タンク配管
背圧が 0.2 MPa 以下になるようにし、直接油タンクに接続してください。その際、管の末端は必ず油中に入れてください。

・ベントコントロール
リリーフ弁などのベントコントロールにご使用になる場合、接続は内径φ6mmで、長さ300mm以内の配管で行なってください。
また、圧力が不安定となる場合は、リリーフ弁などのベントポートにφ1～1.5mm程度の絞りを入れてください。

・回路圧力制御
本弁にて直接回路圧力を制御する場合、負荷容量が40cm³以上になるようにしてください。

・安全弁
安全弁は2ℓ／min にて圧力調整範囲の上限に 2 MPa を加算した圧力に設定してあります。使用圧力の上限が低い場合、または使用流量の上限が異なる場合には、下表により適宜安全弁の設定圧力を変更してご使用ください。
設定圧力＝使用圧力の上限＋加算圧力

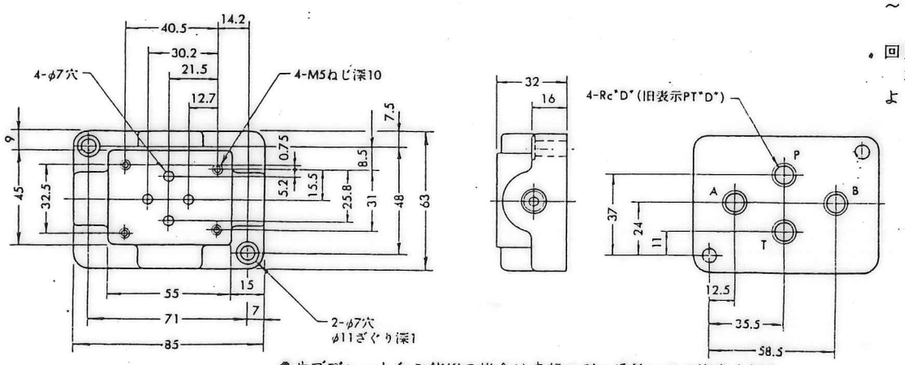


■ 使用油

石油系作動油（JIS K2213 の 2種；添加タービン油の ISO VG32 ～56相当油）を油温-15 ～＋70℃，粘度 15 ～400mm²/s の両条件を満足する範囲で、ご使用下さい。
なお、使用油は常に汚染度 NAS11級より清浄な状態を保つと共に、弁入口には 20 μ以下の管路用フィルターを設けてご使用下さい。

サブプレート

サブプレートモデル番号 Sub-plate Model No.	D
DSGM-01-30	1/8
DSGM-01X-30	1/4
DSGM-01Y-30	3/8



●サブプレートをご使用の場合は左記モデル番号にてご注文ください。なお、サブプレートをご使用にならない場合は弁取付面を6－S程度に仕上げてください。

SIGN	日付 DATE 97-5-8	製図 DRAWN 矢島	YUKEN KOGYO CO., LTD.
DATE	承認 APPROVED 野瀬	検図 CHECKD M.N.	形式 MODEL NO. EDG－01※－※－※－P※※T※※－51－※
REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME 1/8 比例電磁式パイロットリリーフ弁
SYM	FILE NO. 592		図番 DWG NO. VA3 17533-8-0